

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	文章理解の基礎	渡邊 淳子	1 年次	春・秋

授業のキーワード	主題、的確な文意の把握、言葉の味わい、ニュアンス
授業の概要	言葉一つ一つの意味合いを深く吟味し、文章の内容を的確に読み取ると同時に、年齢に相応しい、掘り下げた読みや、批判的な読みが出来る能力を培う学習をします。
期待される学習成果（目標）	1.文章をとおして筆者が主張する主旨を的確に読み取ることが出来るようになります。 2.文章に表現された言葉のニュアンスや文脈に内側に込められた表現の鑿（ひだ）を深く読み込む能力を磨くことが出来ます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	導入	この授業の目的や進め方、受講上の注意を説明します。	第9講	文章内容の的確な把握1	本文とその要約文の内容が合致しているかどうか、細かに検討する練習をします。
第2講	文章を読むとは1	文章を読むとはどういうことなのか、評論家の読みを学ぶことにより学習します。	第10講	文章内容の的確な把握2	第9講の続き
第3講	文章を読むとは2	小説を教材に、論説文とは異なる凝縮された言葉の世界を読み味わう練習をします。	第11講	文章内容の的確な把握3	第9講の続き
第4講	文章構成1	文章の基礎的構成と叙述の方法を学び、正確に主旨を捉えるための基礎学習をします。	第12講	要約文を作る1	主題と要約の違いを学び、各段落の話題を把握する練習をします。
第5講	文章構成2	文意を的確に読み取る練習として、段落分け、段落整序・文章整序を学びます。	第13講	要約文を作る2	資料を用いて、字数の異なる要約文を作る練習をします。
第6講	主旨の把握1	天声人語を教材にして、主旨を的確に読み取る練習をします。	第14講	筆者の主張の吟味1	筆者の主張の妥当性を検討し、文章を客観的に、批評的に読む練習をします。
第7講	主旨の把握2	天声人語を教材にして、文体上の特色から筆者の表現意図を読み取る練習をします。	第15講	筆者の主張の吟味2	第14講の続き
第8講	主旨の把握3	やや長い論説文を教材にして、主旨を的確に読み取る練習をします。	定期試験		ペーパーテストを行います。
評価方法		試験 80%、提出物 10%、授業貢献度 10%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
特に使用せず、その都度資料を配布します。			谷沢栄一著『人間通になる読書術』（PHP 新書） 池内紀著『読書見本帖』（丸善ライブラリー）		